

令和5年度 事業計画

A 令和5年度の重点課題

中期事業計画（2019～2023年度）に基づき、本年度は特に次のことに重点課題として取り組む

【学院】

- ・ホームページ（HP）の充実を図るとともに高校・大学訪問に加えて在校生の母校訪問など多様な方法により学院のブランド価値を高め、学生募集の継続的強化を行う
- ・作業療法学科卒業生に対する求人の多さの一方で受験者の低迷に鑑み、同学科の昼間部への移行の準備を開始する
- ・昼間部作業療法学科への移行については、夜間部の廃止に並行して昼間部の学科新設の位置づけであるため準備室を開設する
- ・新カリキュラムに対応するための臨床実習指導者向け研修会を実施する
- ・同窓会と共同での卒後教育に取り組む
- ・2023年の創立50周年に向けて、同窓会等と協同し記念事業を成功させる
- ・講堂部分の建て替えについての検討を継続する
- ・入学時基礎力テストを導入することで「成長する基礎力」育成に資する教育内容検討資料とする
- ・現行の授業に不可欠な教材や視聴覚設備の更新を行い、受講環境向上を図る
- ・経年劣化の見られる学生用ロッカーを入替、学生の利用環境向上を図る
- ・2024年度からの中期事業計画の策定を2023年度から開始する

【理学療法学科・作業療法学科】

- ・改訂カリキュラムが全クラスに適用され、より質の高い、また学院の特徴を出した教育活動の展開を目指す
- ・指定規則改正に伴い臨床実習の形態が診療参加型に変更になったことを受けて、実習指導者養成のための臨床実習指導者講習会を開催し、また、本校の臨床実習教育の内容を臨床実習指導者会議や巡回訪問時に説明し、実習施設との連携を図る
- ・国家試験合格率の向上に向け、現状分析を徹底し、全学年を通じた対策を講じる。特に学習の基礎から積み上げていく方法を低学年から一貫性を持って取り組む
- ・ICTを活用した遠隔授業やクラス運営を実施し、新型コロナウイルス感染症をはじめとする予期せぬ事態にも対応していく
- ・学生の心身面の問題に対して担任、学科、心理カウンセラー、必要に応じて関係機関との連携をとり対応する
- ・教員の教育力を向上させ、留年率・退学率を減少させる
- ・業務の効率化を進め、残業を減らす
- ・昼間の就労体験を授業に反映させるなど、夜間部の特色を活かした教育内容を再検討する

(両学科夜間部)

- ・作業療法学科ならではの学びの工夫、在学生の特性、卒業生との連携など応募者にとって魅力的に感じる材料を増やしていくほか、作業療法について具体的で魅力的な臨床場面を、卒業生の協力を得て学院内外に広くアピールすることにより応募者の増加を図る（作業療法学科）

【事務局】

- ・スタッフ・デベロップメント（SD）の一環として、事務職員の計画的な研修を企画する
- ・スムーズな学生対応および業務効率、就業環境、セキュリティ向上を目的に事務室のレイアウト変更を進める
- ・学生ロッカー、講堂の冷暖房の入れ替えなど、アメニティの段階的な向上を図る
- ・業務の効率化と職員間の連携を進める

B 学校事業実施予定

【学校全体】

月	項目
4	入学式 ガイダンス
5	開校記念日 1年三科合同行事 学生健康診断 自治会総会
6	体育祭 生理学実習
7	昼間部臨床実習指導者会議 創立50周年記念事業
8	就職説明会
9	成績会議
10	
11	文化祭
12	避難訓練 仕事納め
1	仕事始め
2	卒業決定会議 国家試験 成績会議（進級会議）
3	卒業式

C 職員人事

1 令和5年度教職員名簿

◇学 院 長（1名） 浅沼辰志					
◇副 学 院 長（1名） 帯刀隆之 （兼任教員理学療法学科）					
◇キャリア支援室長（1名） 和島 英明（兼任教員理学療法学科）					
◇涉外担当係長 長屋 説（兼任教員理学療法学科）					
◇事 務 所 法人事務局長 深井 牧子 学院事務長 深井 牧子 事務職員10名／非常勤事務職員4名／学校業務支援員3名／校医1名					
庶務課長	古庄昌彦	教務係長	青柳圭祐	事務職員	齊藤美陽
事務職員	菅谷英恵	事務職員	小池千絵美	事務職員	前田啓志
事務職員	川越光輔	事務職員	長岡友希	事務職員	日比野紗季
事務職員	セウエカリ啓子				
校 医	下河辺仁				
◇理学療法学科 専任教員合計16名					
学科長（1名） 小島 肇 学科長補佐（3名） 小林 規彦、小宮山一樹、中山 雅和					
<夜間部四年課程>					
教 員	藤川 明代	教 員	林 佑樹	教 員	佐々木亮平
教 員	森田 浩章				
<昼間部三年課程>					
教 員	福田 崇	教 員	沼尾 拓	教 員	山形 哲行
教 員	山本 千夏	教 員	坂田 晋一	教 員	小宮山一樹
◇作業療法学科 専任教員合計6名					
学科長（1名） 河野 達哉 学科長補佐(1名) 兵頭 洋子					
<四年課程>					
教 員	福井健太郎	教 員	河野 崇	教 員	木下 輝
教 員	未 定				

2 各種委員会担当者一覧

I. 常設委員会

委員会名		委員氏名
広報誌制作委員会		●深井、宮武、山本、木下、川越
実習指導者研修委員会（主たる実習地担当）		●小宮山、沼尾、福井、齋藤
ハラスメント対策委員会		●兵頭、坂田、川越 【窓口：PT・OT・事務・高村弁護士】 外部委員：中村伴子 委員
自己評価委員会（学校関係者評価委員会・第三者評価担当）		●浅沼、○佐々木、福井、日比野
情報セキュリティ委員会		●青柳、佐々木、河野崇
教務委員会（教育課程編成委員会担当）		●河野達、小林、木下、日比野
教育備品・図書委員会		●古庄、福田、兵頭、長岡
FD委員会		●小島、林、福井、青柳
地域貢献委員会	地域セミナー	●長屋、森田、木下、セウエカリ
	介護セミナー	●山田、林、河野崇、長岡
応募者対応委員会	イベント	●中山、兵頭、山形、小池、前田、長岡
	ガイダンス	長屋
学生委員会		●小島、山形、河野崇、前田
入試委員会		●小林、○帯刀、山本、河野達、小池、菅谷

II. 特設委員会

委員会名	委員氏名
研究助成金選考委員会	●和島、山田、浅沼、帯刀、小島、河野達、深井
教学マネジメント構築委員会	●帯刀、山田、浅沼、和島、小島、河野達、齋藤
学則委員会	●古庄、浅沼、帯刀、小島、河野達、青柳
国家試験対策委員会	●帯刀、和島、藤川、沼尾、河野達、兵頭、青柳
新校舎建設等検討委員会	●宮武、○山田、浅沼、深井、坂田、森田、福井
出口対策特命班	●帯刀、○浅沼、小島、河野達、深井
中期事業計画策定委員会	●山田、浅沼、帯刀、小島、河野、深井、宮武顧問、小林評議員
昼間部作業療法学科設置・夜間部作業療法学科廃止準備室	●浅沼、○柴田、河野達、深井

（注） ●印は委員長、○印は副委員長

D 学生在籍状況及び担任一覧

区 分	学年/期生	在籍数(見込み)	教室番号	担 任
理学療法学科夜間部	1年/51期	32	1番	森田
	2年/50期	34	7番	佐々木
	3年/49期	35	8番	林
	4年/48期	31	4番	藤川
	計	131		
理学療法学科昼間部	1年/41期	68	1番、2番	坂田、小宮山
	2年/40期	76	4番、6番	山本、山形
	3年/39期	63	7番、8番	福田、沼尾
	計	204		
作業療法学科夜間部	1年/44期	27	2番	福井
	2年/43期	25	3番	木下
	3年/42期	16	6番	河野崇
	4年/41期	24	5番	兵頭
	計	93		
合 計		431		